

A Study of the challenges of End of Life Care for Terminal Patients in Acute Care Hospitals

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2021-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 入澤, 仁美 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002556

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2287 号

A Study of the challenges of End of Life Care for Terminal Patients in Acute Care Hospitals

急性期病院におけるケアエンド・オブ・ライフケアに関する課題についての研究

入澤 仁美 (いりざわ ひとみ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、「身の置き所がない」という「その場にいられない、いたたまれない」などの多義的な解釈が可能な日本語表現に着目し、それが終末期の患者のアセスメントに使われる場合にはどのような解釈をすべきなのかを、「看の置き所がない」と看護記録内で実際に評価された後に看取られた患者を対象として、治療およびケアの経緯を確認して、評価の原因の特定が可能であるか、より適切な治療の選択肢がなかったかを後ろ向きに検討し、エンド・オブ・ライフ (EOL) ケア特有の臨床倫理に着目している点において、研究方法の新規性が認められる。また「身の置き所がない」というような多義的に解釈され得る表現を、患者を診断することができない看護師が患者のありのままの状態を伝えるためには、統一的に解釈されるべき看護記録の中で使用せざるを得ないジレンマに留意しながらも、「身の置き所がない」という評価の趣旨を明らかにしようとし、またそのような表現がされた際には医療抵抗性についての医学的適応 (進行中の治療が十分でないこと) を意味することを示唆した点において、臨床への貢献が大きく評価できる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。